

平成29年度第11回安城市地域ケア推進会議

日時 平成30年2月15日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福祉会館 3階 会議室

1 会長あいさつ

- ・DVDの視聴の後、来年度の研修会、ガイドブックについて活発な討論をお願いします。
- ・デンパーク駅伝の参加により多職種の連携ができたと思うので来年もお願いします。

2 議題

(1) 地域包括ケアシステム～ある探偵社の調査結果～(愛知県作成DVD)

事務局) 内容は地域包括ケアシステムを理解して頂くのに大変役立つものである。市はまちかど講座などで市民に地域包括ケアシステムを紹介する時に使うことを考えている。部会でも地域包括ケアについて研修する機会があれば活用してほしい。

- ・DVDの視聴
- ・DVDについての意見、質問無し

(2) 在宅医療・介護連携推進のための研修会のあり方について(資料1)

事務局) 研修会の目的はスキルアップと多職種の連携である。資料1の企画内容について他部会が運営に協力できるかを意見交換したい。開催月は3月の推進会議で決定する。研修会に参加しやすい開催曜日、時間帯なども意見交換してほしい。

- ・病院部会) 「病診連携に関わる退院カンファレンス」。ワークショップ形式の研修である。病院の医師が出るので地域との顔合わせと病院を知ってもらう良い機会である。12月か1月に開催したい。
- ・医師会部会) 「安城市エンドオブライフ・ケア」。昨年は参加者が多かった為2回に分けて行った。次年度も開催する。自分の終末期を見直す良い機会でもある。
- ・歯科医師会部会) 「口腔ケア」の研修会。口腔ケアができる人材の育成をしてほしいと希望があったので実習形式で行う。
- ・薬剤師部会) 「在宅で薬剤師ができること」。県に講師を依頼する。講師には成功例を紹介していただきたい。
- ・訪問看護ネットワーク部会) 「訪問看護とケアマネージャーの相互理解を深めるための研修」

と「事例検討会」。今年度取ったアンケートをグループ討議か事例検討をする予定である。「事例検討会」について。医師会と今年度に引き続き来年度も事例検討をしたい。

会長) ケアマネット部会、医師会部会と共同開催とのことであるがケアマネット部会、医師会部会としてコメントはあるか。

ケアマネット部会) 2月16日に訪問看護ネット部会主催で、お互いの役割を知る研修会がある。次年度には、それを深め、グループワークで意見交換をすると得るものがあると思う。

医師会部会) なし。

- ・リハネット部会) 「リハビリテーション専門職の多様性と可能性」。医療介護同時改定によりリハビリテーション専門職の活かし方や必要とされるセラピストのスキルアップと連携をさらに強化したい。講師と会場、時期は未定である。内容によっては今までお願いしたことのない部会に依頼するかもしれないがご協力をお願いしたい。
- ・ケアマネット部会) 「多職種連携のための研修会」。現在全て未定。
- ・小規模多機能部会) グループホーム部会と合同開催する。内容は地域密着型施設の在り方について。地域密着型サービスの見識を高め、地域包括ケアシステムの中で地域密着型施設はどのような役割を果たせば良いかを研修したい。
- ・施設部会) ①「多様化する介護従事者への対応」。平成30年度は職員の確保がテーマとなる。EPA、実習生の活用についての理解を深める研修をしたい。講師の依頼が難しければ②「介護現場での接遇・マナー」に変更する。
- ・デイネット部会) ①「地域と事業所と他事業所との連携づくりについて」。28、29年度は地域と事業所の関係づくりについて研修会を行ったが今後は事業所間の連携が大切になると思うので①のテーマにした。②「魅力ある職場環境を整備しよう」について。介護職員の人手不足が問題であるので介護ロボットや福祉用具の導入により介護職員に負担をかけずに介護が続けられる環境を整備したい。施設部会や介護事業所にアンケートを協力してもらったり先進的な取り組みをしている事業所があれば成功事例を紹介したい。

事務局) 地域との関わりを持つための研修のために地域の方にも参加して頂きたいので案内の出し方(時期)について意見をいただきたい。

→地域支援部会) 町内会は回覧が回るのに3週間要するので2か月前に欲しい。掲示も同様。

→保健福祉部会)福祉委員会やサロンを運営されている方は2か月くらい前に周知したい。

- ・ヘルパーネット部会)「生活サポーターとの連携」。あんジョイ生活サポーターでヘルパー事業所に行っている人はシルバー人材センターは40人あとは0。介護サービスの人材不足は大きな問題であるので生活サポーターに軽度生活援助を渡せば身体介護はヘルパーが担うことができると考えた。
- ・グループホーム部会)「地域密着型施設のあり方」については小規模多機能部会の説明のとおり。グループホーム部会の利用者は認知症の方ばかりなので認知症の周辺症状についての良い声掛けと悪い声掛けの事例を踏まえ和田氏に2つのテーマについて講演を依頼したい。
- ・保健福祉部会)「支援における家族理解について」。本人への支援だけでなく家族への支援が必要な8050のようなケースが増えている。今後ふえるこのようなケースに対応できるよう包括だけでなく社協や事業所、地域の方々にも理解いただける研修会をしたい。

(研修会の提案について質問、意見なし。)

研修会に参加しやすい開催曜日、時間帯について

- ・事務局) 歯科医師会の研修会について、看護、介護職の口腔ケアのスキルアップを目的とする。現場の職員が参加しやすい時間帯はあるか。
- ・デイネット部会) 15時は送迎の時間である為13時半か14時から、又は18時からが良い。
- ・施設部会) 18時からが良い。
- ・ヘルパーネット部会) どの時間帯も厳しい。夕方は職員が家庭の都合で出られない。テーマによって時間を変えても良いのではないか。
- ・事務局) 口腔ケアの研修は夕方の時間帯が出席しやすいということで報告する。

(3) 在宅医療ガイドブック(仮称)について(資料2)

事務局) 資料2について説明。

ご意見は3月31日までに、担当寺田(メールアドレス terada-yukiko@city.anjo.lg.jp)にご連絡ください。意見を参考に原稿案を完成させ、印刷業者に依頼をする。イラスト、装丁などは業者に任せる。タイトルを4月に決定する。

意見交換

- ・デイネット部会) サルビーのICTを取り入れると普及にもつながるので良いのではないか。
- ・地域支援部会) リビングウィルについて。モデルの例示や流れを載せると分かりやすい。文字ばかりなので見やすいように字体を工夫してほしい。
- ・病院部会) リビングウィルについての個別のケアや治療について具体的な内容を書くと実際の医療現場で対応が難しくなることがある。自分の死についてももう少しぼんやりとした、個人の価値観を書く物もあるので参考にしても良いと思う。(私の四つのお願い/箕岡真子(著))。自分のケアをどうするかは元気な時にはイメージしにくい。人工呼吸器を拒否されると人工呼吸器をつければ治る肺炎でも医療者が意味を理解していないと本人が望んでいないならやめようとなってしまう。医療の現場はリビングウィルがまだ普及していないので有益な物まで中止されてしまうおそれがある。

連絡事項

- ・事務局) 劇団サルビー見守り隊DVDの貸し出しについて(資料3)。希望があれば申込書を高齢福祉課まで提出。
- ・病院部会) 更生病院の市民公開講座のお知らせ。
日時：2月17日(土) 10:00~11:00
内容：協働意思決定の発展形であるアドバンスケアプランニングについて。

【在宅医療・介護連携推進のための研修会】

テーマ：訪問看護とケアマネジャーの相互理解を深めるための研修会

日時：平成30年2月16日(金) 午後6時

場所：安城市民会館 大会議室

講師：永井 知直実 氏(在宅医療サポートセンター・中核センター コーディネーター)

：岡田 ひとみ 氏(「安城市ふれあいサービスセンター」主任介護支援専門員)

テーマ：薬の副作用・薬を減らすための取り組みについての勉強会

日時：平成30年2月22日(木) 午後6時

場所：安城市民会館 視聴覚室

講師：医師会部会 小野 真奈美 氏(安城新田クリニック)

：薬剤師部会 服部 宏明 氏(あおい薬局)



次回 平成30年3月15日(木) 午後1時30分~午後3時 社会福祉会館3階 会議室